

◆今期間のポイント

<主要しょう乱の概要>

- 28日は北日本と日本の南を低気圧が東に進み、29日にかけてそれぞれ日本の東に進む。
- 29日に5月2日にかけて高気圧が東シナ海から日本の東に進み、1日から2日にかけて日本の付近に張り出す。

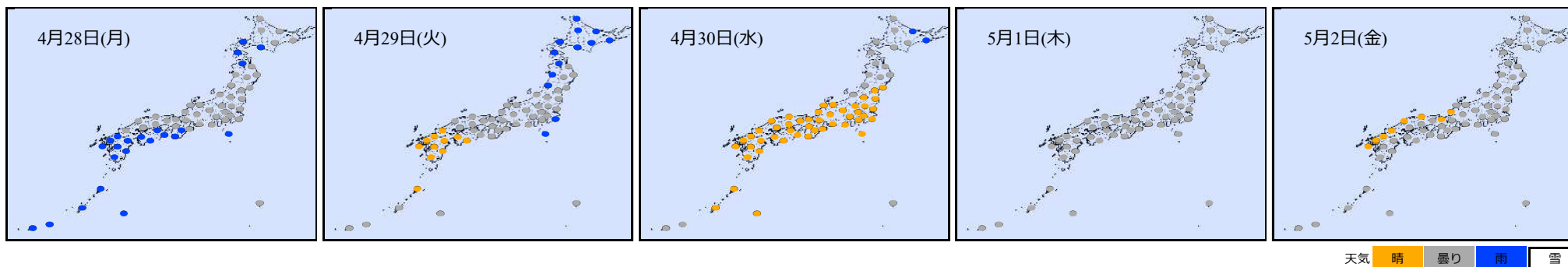
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- なし。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

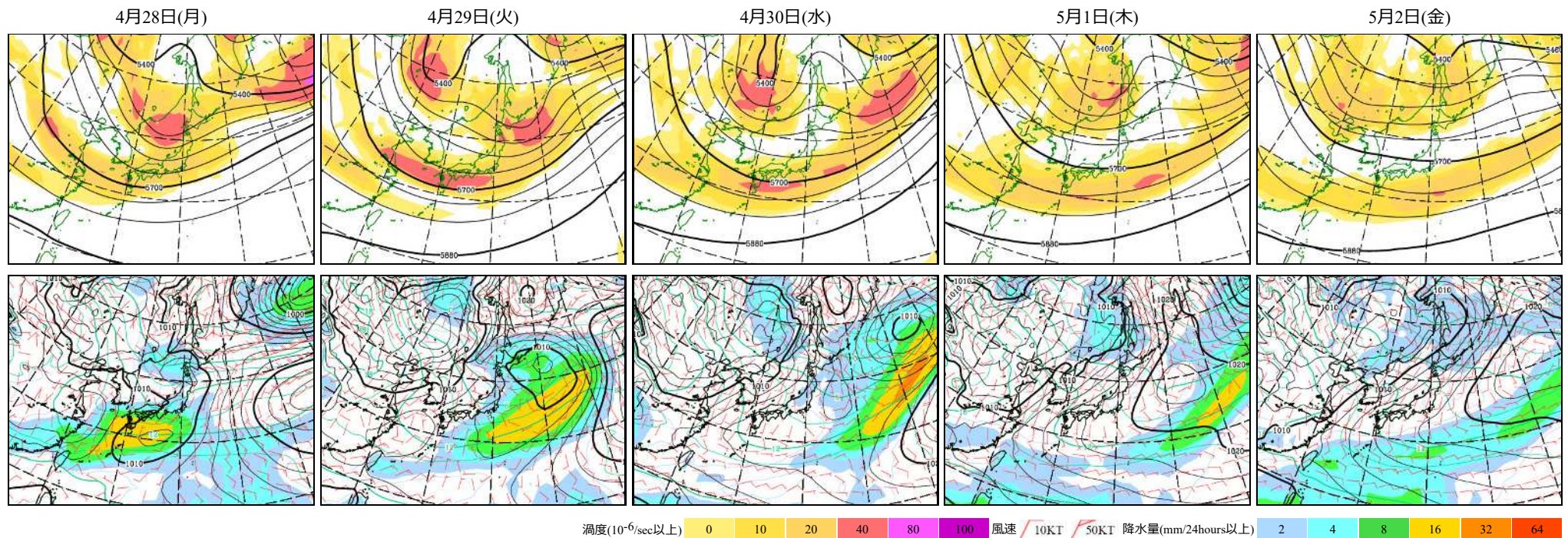
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

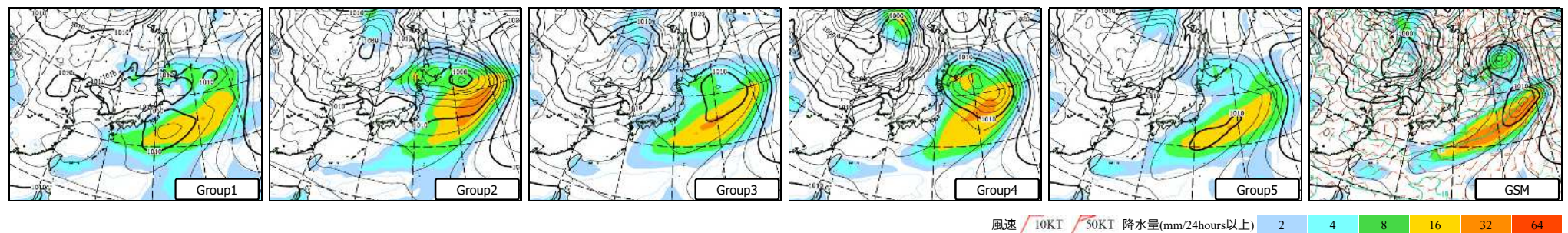


- 北日本は、晴れる所もあるが雲が広がりやすく、雨が降る所がある。
- 東日本は、雲が広がりやすいが、30日は晴れる所が多い。
- 西日本は、雲が広がりやすく雨の降る所があるが、30日は晴れる所が多い。
- 沖縄・奄美は、雲が広がりやすく28日は雨の降る所がある。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆4月29日のENSクラスター平均(グループ1～5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、28日は日本海を通過するトラフの進みが早くなった。29日は日本の東を進むトラフと沿海州のトラフが浅くなり、日本海のリッジが明瞭になった。30日から1日は北日本付近のリッジが明瞭になり、中国東北區を通過するリッジが遅くなった。2日は日本の東のリッジと中国東北區のトラフが明瞭になった。地上では、28日に日本の南の低気圧が南に寄り、30日にかけて弱くなった。1日と2日は日本の東から日本付近にのびる高気圧が強くなった。
- 28日頃に本州南岸を進む低気圧の予想については、初期値変わりやモデル間の差があり、不確実性が大きい。低気圧の予想が変わった場合は予報が大きく変わる可能性がある点に留意。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。